

JAPIC NEWS

Japan Pharmaceutical Information Center

12

No.463

December 2022

50
TH
ANNIVERSARY

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

■ JAPIC創立50周年記念

～祝辞～

日本医薬情報センター 創立50周年にあたって

厚生労働省 医薬・生活衛生局長 八神 敦雄 …… 2

～ご挨拶～

50年を迎えて 一般財団法人 日本医薬情報センター 会長 村上 貴久 …… 3

財団法人50周年と今後の展望について

一般財団法人 日本医薬情報センター 理事長 赤川 治郎 …… 4

■ インフォメーション

薬系大学・医系大学4年生向けに

JAPIC「医療用・一般用医薬品集2023 CD-ROM」を無償提供! …… 6

「日本の新薬-新薬承認審査報告書集-」112~120巻 12月下旬発売! …… 7

年末年始休業のお知らせ

■ トピックス

JAPIC図書館のホームページをリニューアルしました …… 8

■ コラム

くすりの散歩道No.151「みなはだ色の紗、秋風に舞う」

(一財)日本医薬情報センター 事務局 総務・経理担当 羅知 弘一 …… 9

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より-(抜粋) …… 10

■ 図書館だより No.389 …… 11

■ 情報提供一覧 …… 11

JAPIC創立50周年記念

～祝辞～

日本医薬情報センター創立50周年にあたって

この度、一般財団法人日本医薬情報センターが創立50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。1970年の設立以来、歴代会長、役員及び会員の皆様のためご尽力により、日本医薬情報センターがこのように大きな発展を遂げられ、日々、医薬情報の提供を通じて、国民の健康や医療の向上に貢献しておられますことに、深甚なる敬意と感謝の意を表すところでございます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行は、世界中の人々の生活に甚大な影響をもたらしました。厚生労働省では、国民の生命と健康を守るため、安全かつ有効なワクチン、治療薬、医療機器等について、特例承認や優先的な審査等により早期の承認に取り組んでまいりました。そして、さらなる早期化を実現すべく、緊急時に新たな医薬品等を速やかに承認する緊急承認制度を創設しました。日本医薬情報センターにおかれましては、国内外の新型コロナウイルス感染症関連製品等について、安全性情報や公的機関情報を幅広く収集し、適正使用推進に役立つよう迅速に提供いただいております。今後ますます果たされる役割が大きくなるものと考えております。

国民の健康増進や切れ目のない質の高い医療の提供に向け、医療分野のデジタル化が進んでいます。厚生労働省では、MID-NETなどのリアルワールドデータの利活用、添付文書の電子化、トレーサビリティ向上のためのバーコード表示の義務化などデジタルを活用した安全対策の向上を図ってまいりました。また、医療・介護分野でのDXによりデータ利活用等を推進し、安

厚生労働省
医薬・生活衛生局長



八神 敦雄 *Yagami Atsuo*

心で質の高い医療・介護サービスの提供を実現する一環として、電子処方箋の導入を進めています。日本医薬情報センターでは、早くから医薬文献抄録のオンライン検索システムや医薬品情報データベースの構築などに取り組まれてきました。今後も、最先端の技術を活用しながら、医薬品等の安全対策の取組に貢献する様々なサービスを提供されることを期待しております。

また、日本医薬情報センターにおかれましては、添付文書関連の情報提供や医薬品情報に関する出版活動などを通じて、医療関係者や製薬企業、そして国民に対して、医薬品等の適正使用に資する品質・有効性・安全性情報をお届けいただいております。人生100年時代を迎え、国民のライフスタイルが多様となってまいります。医療分野においては、科学技術力向上やイノベーションが目覚ましい進展の下で、ゲノム情報や、体質、生活環境、ライフスタイルにおける違いを考慮して、それぞれの患者に合った最適な治療を行うプレジジョンメディシンがさらに進んでまいります。国民の医薬品等の情報に対する関心が高まる中、日本医薬情報センターが提供される医薬情報が、今後とも、国民一人一人の健康・予防・医療に役立てられ続けることは、非常に重要であると考えております。

創立から半世紀という大きな節目を迎えられたところですが、これをさらなる飛躍の契機とし、医薬品、医療機器と患者をつなぐ正確かつ迅速な医薬情報発信の中核として、日本医薬情報センターがますますご発展されますことを心からお祈りし、祝辞といたします。

～ご挨拶～

50年を迎えて

一般財団法人 日本医薬情報センター
会長村上 貴久 *Murakami Takahisa*

久保文苗先生を初代理事長に迎え、日本医薬情報センター（JAPIC）が財団法人として発足してから50年となりました。任意団体の日本医薬情報センター（所長 久保文苗）としての期間を含めると52年になります。

JAPIC創立に先立って、日本製薬工業協会では、医薬品の安全性に関する薬学・医学関連の情報収集及び利用の推進を図ることが重要との認識に立って、特別準備委員会を立ち上げ、検討され、「日本医薬情報センター（JAPIC）設立具体案」を作成しておりました。この設立具体案に記されたJAPICの果たすべき役割は、医薬品関連資料の収集・整理・保管・提供等のライブラリー業務、情報の評価・分析・加工処理・蓄積等のドキュメンテーション業務、資料の交換・提供の仲介等のクリアリングハウス業務などと示されております。また、設立の意義としては、各社単独で行った場合の情報収集業務の重複を避け、各社はJAPICのデータベースを活用することにより効率化が図れると指摘されております。

50年間のJAPICの歩みを顧みますと、当初の設立具体案に示されたビジョンに従い、着実かつ誠実に業務を続けていくことができたのではないかと考えております。

その一方、この50年間の情報通信技術の進歩は激しいものがありました。

JAPIC発足当時の情報提供形態は紙媒体が主で、FAXの活用などが試みられておりましたが、即時性は達成が難しく、FAXの伝送容量は限られていました。その後利用可能になったインターネットも、当初は文字列だけの通信で伝送速度も遅いものでした。

今日、資料を電子情報として蓄積することが容易となり、クラウドの利用が普及し、インターネット経由の情報伝送は毎秒ギガバイトレベルの達成も容易となっています。

このような環境の変化によりJAPICの情報提供の形態も変化してきました。

また、近年のコロナウイルス感染症の蔓延により、在宅勤務が定着し、クライアント各社の求める情報提供形態も変化しております。

JAPICといたしましては、今後とも技術革新に迅速に対応し、クライアント各社のご要望に真摯に応じて事業を続けていきたいと考えております。

引き続きのご指導ご鞭撻をお願いいたします。

～ご挨拶～

財団法人50周年と今後の展望について

一般財団法人 日本医薬情報センター
理事長

赤川 治郎 *Akagawa Haruo*



日本医薬情報センター（JAPIC）は、1972年12月に、「医薬情報の総合的収集、分析、評価、加工及び整理並びに迅速かつ的確な提供及び普及」により、「国民の保健衛生の向上に寄与すること」を目的に掲げて財団法人として発足しました。当財団法人は公益法人改革により、2012年に一般財団法人になりましたが、このたび2022年12月に創立50周年を迎えることとなりました。これには日本製薬団体連合会、中でも前身の任意団体活動の開始に際し中心となった日本製薬工業協会をはじめとする医薬品に関連する団体、企業のご支援、ならびに2013年以降は医療機器に関連する企業の皆様のご支援もあり、また、医薬品・医療機器の規制当局である厚生労働省および医薬品医療機器総合機構からのご指導を賜り、さらには運営に関与されてきた歴代の評議員・理事の皆様からの御意見等により、今日のJAPICが築かれてきたことに対し、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

創立50年の歴史を経て、この間、添付文書情報を網羅した「JAPIC医療用医薬品集」、 「JAPIC一般用医薬品集」は日本医薬情報センターの出版物として幅広く認知され、それらの電子版とともに親しまれています。また、国内医薬品安全性情報に重点をおいた「医薬文献・学会情報速報（JAPIC-Q）サービス」および「海外規制当局等安全性措置情報（JAPIC Daily Mail（JDM）およびJDM Extra）」などもよく利用していただいています。また、2002年に成立した改正薬事法による感染症定期報告に係る感染症情報（JAPIC-Q Plus、JDM Plus）サービスの提供のほか、利用者の検索結果をカスタマイズしたサービス（JAPIC-QX）、医療機器・再生

医療等製品安全性情報（JAPIC-Q医療機器）サービスやMEDLINE等の外部データベースを検索するサービス（JAPIC-DBS）の提供、ならびにこれらのサービスの提供に際しGVP（Good Vigilance Practice）対応とするなど、利用者の皆様の多様なニーズに応じてきています。

とりわけ、これまでの20年を振り返りますと、紙ベース中心の情報提供からITの発展とともに時代のニーズに即して、様々な事業を展開してまいりました。2004年に公益事業の一環として無償の医薬品情報データベース「iyakuSearch」を公開し、これには2006年に新薬承認審査報告書「日本の新薬」を、2008年に「医薬品類似名称検索」を、2009年には内閣府の医療のIT化を推進する一助として「効能効果の対応標準病名」を搭載し、皆様に広くご利用いただいています。2010年にJAPIC AERS（大規模有害事象症例報告データベース）サービスを開始し、2017年に厚生労働省の医療用医薬品最新情報集（ブルーブック）の作成・公表に協力した「ブルーブック連携データベース」を公開し、また、2018年には広く医歯薬系学会の要旨を検索できるサービス「Where」を開始し過去分の充実を図った上で2020年9月に「iyakuSearch Plus」のメニューに追加しました。2019年から、厚生労働省の医療用医薬品添付文書記載要領の見直しに対応したデータの提供も逐次行っています。

一方、2013年4月には会員制度を見直して医療機器企業等の会員制度を創設し、医療機器、再生医療等製品を取り扱う企業の皆様にもJAPICのサービスをご利用いただけるようになりました。

さらには新たな事業の展開として、2021年4月より、公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財

団から引き継いだ「動物実験実施施設外部検証・認証事業」をJAPICの事業として開始しています。

JAPICでは、医薬情報を取り巻く環境の変化に柔軟かつ適切に対応するため、3年ごとに事業方針および重点目標等を設定する中期計画を定めています。第七期中期3カ年計画（令和2年～4年度）では、「事業方針」について、一般財団法人として公益目的支出計画に沿い、医薬品・医療機器等情報の収集・加工・提供を通じて医薬品等企業及び医療関係者をはじめ広く社会に貢献することを目指し、(1) IT環境を計画的に整備すること等により、業務の効率化及びコスト削減等を図り、財政の健全化及びガバナンスの強化に努めること、(2) ユーザーのニーズ等を踏まえ、サービスの質の維持・向上や新規事業の創出に取り組むこと、(3) 研修の充実や働き方改革等により、職員の資質・能力、意欲の向上を図ることに留意して事業や施策等を推進してきたところです。特に、事務局に情報システム担当を設置、ITを活用したユーザーへのサービス向上や業務の合理化等に中心となって取り組む体制を構築した上で、近年の気象被害に係る公共交通機関の計画運休やコロナウイルス感染症蔓延等に対処するため、BCP (Business Continuity Planning) への実務的運用としてハード・ソフト両面でテレワーク・オフィスワークのハイブリッドワーク環境の整備やユーザーニーズに応じた情報提供方法の多様化に努めてまいりました。また、財政運営においてはユーザーニーズに応じた事業の拡大等を図る一方で、会員・会費制度の累次の見直しにより会費収入への依存度の軽減を図ってきたところです。さらに、品質管理面では、GVPにより適切に対応するため、品質向上の観点から、必要な手順書の累次改訂に取り組んでまいりました。

次期中期3カ年計画の検討を含め、JAPICの今後を展望したいと思います。

医薬品、医療機器等を取り巻く環境は、流通や薬価制度の検討を含め、多くの課題が押し寄せてきており、特に近年のわが国におけるデジタル化の推進に伴い、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（2022年6月7日閣議決定）では、「全国医療情報プラットフォームの創設」等の取組を行政と関係業界が一丸となって進めることとされ、同年9月に「医療DX令和ビジョン2030」厚生労働省推進チームが設置されたところです。「全国医療情報プラットフォーム」は、オンライン資格確認等システムのネットワークを拡充し、レセプト・特定健診情報に加え、予防接種、電子処

方箋情報、電子カルテ等の医療機関等が発生源となる医療情報について、クラウド間連携を実現し、自治体や介護事業者等間を含め、必要なときに必要な情報を共有・交換できる全国的なプラットフォームとするものです。これにより、マイナンバーカードで受診した患者は本人同意の下、これらの情報を医師や薬剤師と共有することができ、より良い医療につながるとともに、国民自らの予防・健康づくりを促進でき、さらに、感染症危機に必要な情報を迅速かつ確実に取得できる仕組みとしての活用も見込まれるものです。

2019年12月に成立・公布された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」により、添付文書の電子的な方法による提供の原則化、医薬品等の包装等へのバーコード等の表示の義務化、対面原則の例外としてのテレビ電話等による服薬指導の規定化等が既に施行されたところですが、さらに、2022年5月に成立・公布された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」により、電子処方箋の仕組みが創設されることとされたところです。電子処方箋は、オンライン資格確認等システムを拡張し、現在紙で行われている処方箋の運用を、電子で実施する仕組みであり、オンライン資格確認等システムで閲覧できる情報を拡充し、患者が直近の処方や調剤をされた内容の閲覧や、当該データを活用した重複投薬等チェックの結果確認を可能とするもので、いよいよ運用開始が間近に迫っています。

JAPICはこれまでも医薬品の禁忌・相互作用等を含めた注意事項等情報を含めた電子データの提供を行ってまいりましたが、こうした情報の電子化の動向やニーズを的確にとらえ、今後とも適時に必要な情報の提供に努めてまいります。

また、このような状況下において、JAPICの情報提供サービスについては、国内外規制に対応した質の高い迅速な情報提供や監査への対応に応えるべく、ますます多様化複雑化してきています。こうした、JAPICを取り巻く環境の変化に柔軟かつ適切に対応するため、第八期中期3カ年計画（令和5年度～7年度）の事業方針及び重点目標等を今後検討してまいります。

医療関係者の皆様の多様なニーズを的確に踏まえ、正確な情報をタイムリーかつ適切に提供するため日々業務の質の向上に努め、皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

薬系大学・医系大学4年生向けに JAPIC「医療用・一般用医薬品集2023 CD-ROM」を無償提供！

教育支援の一助として、本年度も「JAPIC医療用・一般用医薬品集2023 CD-ROM」を無償提供いたしました。薬系大学及び医系大学4年生向けに各校ご利用の希望数をお伺いし、本年度は薬系大学69校に約10,300枚、医系大学67校に約8,200枚以上のCD-ROMを11月に送付いたしました。

本事業は、3月発行の「日本の医薬品 構造式集」無償提供と同様に毎年実施しており、本年で18年目となります。「日本の医薬品構造式集」は、薬系大学の新1年生向けに約13,900冊を提供しております。いずれも医療現場において次世代を担う学生への教育支援として公益事業の一環で実施しており、提供先大学からは、教育現場で広く有効に利用されているとのご報告をいただいております。

このような事業を継続できますのもJAPIC会員の皆様のご支援の賜物と感謝しております。



JAPIC医療用・一般用医薬品集2023 CD-ROM Windows版

収録内容

- ・医療用医薬品集
- ・一般用医薬品集
- ・薬剤識別コード一覧
- ・薬価情報
- ・先発品・後発品の全情報
- ・添加物情報
- ・最新添付文書画像 (PDF) の表示機能付き
(要インターネット接続。医療用医薬品は毎週更新、一般用医薬品は月1回更新。)



日本の医薬品 構造式集

医薬品の安定性、溶解性などの化学的特性、薬効・薬理が示唆され容易に類似化合物の類推ができる、構造式約1,400成分を一覧化。薬剤師はじめ化学、薬学領域の学生、研究者にとって不可欠な内容です。

「日本の新薬－新薬承認審査報告書集－」 112～120巻 12月下旬発売!

◆新成分・効能追加・新用量・新剤形などすべての申請内容を掲載!!

- ◇本書は、旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターおよび独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下PMDA）で行われた新医薬品の承認審査の報告書（以下審査報告書）をまとめて編集したものです。
- ◇今回、2021年1月～12月にPMDAから公表された審査報告書97品目を承認月順に収載し、112巻から120巻の9分冊にまとめて発刊します。
- ◇今後の新医薬品の開発の計画と実行、薬事対応にお役立ていただける資料です。
- ◇臨床試験における副作用に対する考え方や判断のポイントなど、添付文書やインタビューフォームには記載のない情報もあり、市販後調査部門や医療機関においても重要な情報（判断を伴った）が満載です。
- ◇簡単な操作で検索・閲覧ができる「日本の新薬－新薬承認審査報告書DB－」をJAPICの医薬品情報データベースiyakuSearch上で公開しています。



- ◆発刊日：2022年12月下旬予定
- ◆価格：各巻 24,200円（税込）・B5判
112～120巻セット 108,900円（税込）
※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております

〔お問合せ先〕事務局 渉外担当（TEL：0120-181-276）

年末年始休業のお知らせ

年末年始休業：令和4年12月29日（木）～令和5年1月4日（水）
新年は1月5日（木）より業務を開始いたします。

JAPIC図書館のホームページをリニューアルしました

これまで別々になっていた利用案内、蔵書検索、学会開催案内、複写サービスをサイトにまとめました。

JAPICのホームページ<https://www.japic.or.jp/> の附属図書館をクリックしていただくと、

図書館のホームページ<https://tech.libblabo.jp:53081/blabo/home32.stm> にリンクします。

○所蔵内容については**蔵書検索・一覧**でご確認いただけます。

○医学・薬学分野の学会の開催情報は**医学・薬学関連学会 開催情報検索**から検索できます。

○文献複写につきましては**文献複写サービス**からお申し込みください。



JAPIC
—日本薬学会 日本医薬情報センター—

一般財団法人日本医薬情報センター附属図書館 (JAPIC図書館)

所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目12-15 長井記念館4階 Tel 03-5466-1827 Fax 03-5466-1818 tosho[at]japic.or.jp (※迷惑メール防止対策のため、@を[at]に置き換えています)	
開館時間	月曜日～金曜日 9:00～17:30 ◎諸事情により変更する場合がありますので お知らせ でご確認ください。	
休館日	土・日・祝祭日、年末年始 (12月29日～1月4日)	
入館・閲覧	受付カウンターで入館手続きをお済ませの上、お入りください。貸し出しはいたしません。貴重な資料の汚損防止のため、飲食物の持ち込みは禁止しています。	

所蔵資料、到着状況、図書館からのお知らせ

蔵書検索 **一覧** **案内** **HELP**

- 図書/雑誌 (全資料) 横断検索
- 図書/雑誌詳細検索
- 雑誌タイトル検索
- 雑誌タイトル一覧
- 世界の医薬品集
- 世界の公定書<薬局方・薬局方外規格等>
- 図書新着案内
- 雑誌新着案内
- お知らせ

医学・薬学関連学会 開催情報検索

日本国内で開催される医学・薬学関連の学会、地方会、研究会、国際会議、シンポジウム等の開催情報を掲載しています。所蔵雑誌をはじめ、業界紙、学会のHPなどから開催情報を収集しています。
※開催日、会場などが急に変更される場合がありますのでご注意ください。

文献複写サービス 複写受付 9:30～16:30 ◎諸事情により変更する場合がありますので [お知らせ](#) でご確認ください。
著作権法第31条の「図書館資料の複製が認められる施設」として、昭和48年政令に基づき国の指定を受けています。著作権法に基づき複写サービスを行っています。著作権にかかわる注意事項につきましては [こちら](#) でご確認ください。諸事情により即日処理をお受けできない場合があります。また、複写ができない資料もありますのでご了承ください。

Copyright(C) Japan Pharmaceutical Information Center. All Right Reserved [ホームページのご利用にあたって](#)

医学・薬学関連学会 開催情報検索のデザインをリニューアルしました

○日本国内で開催される医学・薬学関連の学会、地方会、シンポジウム、国際会議等の開催情報です。

○JAPIC図書館で所蔵している雑誌をはじめ、業界紙、学会のHPなどから開催情報を収集しています。

○更新頻度は逐次、図書館で確認した最新の情報を反映しています。



医学・薬学関連学会 開催情報検索

学会名、会議名等

検索モード AND OR

主催者名 (会長・世話人等)

事務局長

会場名

開催地 (都道府県)

開催年 2022 年 11 月 02 日 から 年 月 日 まで

※開催の中止、延期、会場が急に変更される場合がありますので、出席される場合は、主催者へご確認ください。

* 日本国内で開催される医学・薬学関連の学会、地方会、シンポジウム、国際会議等の開催情報です。
* JAPIC附属図書館で所蔵している雑誌をはじめ、業界紙、学会のHPなどから開催情報を収集しています。

お問い合わせ先
JAPIC附属図書館 Tel:03-5466-1827 Fax:03-5466-1818 mail:tosho@japic.or.jp

Copyright(C) Japan Pharmaceutical Information Center. All Right Reserved [ホームページのご利用にあたって](#)

- ・学会名・会議名、主催者名、開催年月日などから検索可能
- ・検索結果一覧から該当情報をクリックすると詳細情報が確認可能
- ・主催者作成のHPへのリンクあり

[お問合せ先] 図書館 (E-mail: tosho@japic.or.jp TEL: 03-5466-1827)

くすりの散歩道

NO.151

みなはだ色の紗、秋風に舞う

(一財)日本医薬情報センター 事務局 総務・経理担当
羅知 弘一 *Rachi Koichi*



于時、初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薰珮後之香

「令和」の典拠となった「万葉集」の一節です。

・蘭の花が香袋のように薫っている (諸説あります)

この淡い薫りに導かれて訪れたのは、洛西にある社です。バスと徒歩で山道を登っていくと、「源氏物語」の「行幸」の画が重なり、当時は訪れるのも一苦勞であっただろうことが偲ばれます。静けさのある石段を上がり禊ぎを済ませると本殿が見えてきて、その手前にあるフジバカマ (藤袴) には、蝶たちも淡い薫りに引き寄せられていました。鮮やかな浅葱色の翅にまだら模様のからだをもったアサギマダラです。英名でChestnut Tigerというように後翅は栗色の縞模様をしています。日本列島を2千キロ近く、春に北上し秋に南下する渡り蝶です。思いのほか立派な蝶です。旅の途中ここに立ち寄って栄養補給しているのです。春はスナビキソウなどに、秋はフジバカマなどに群がります。この花々は生える場所も姿かたちも異なりますが、なかにピロリジジンアルカロイドという物質を持っていて、これがお目当てです。子孫にバトンを渡すためにどうしてもこの蜜でなければならず、また、この物質には毒性があり捕食者から身を守っているともいわれています (諸説あります)。風に乗って滑空するのが上手であるとはいえ、ときには大海原を渡らなければなりません、でもこの毒をもっていれば安心して波の上に漂って休めますね・・・美しいものには毒がある・・・少し前に一般的にも話題となった劇場公開動画で、登場する剣士のひとりが身に着けている髪飾り・纏っている装束に浅葱色の蝶が描かれていました。そしてフジの花の毒を飲み相手に挑むのですが、モチーフとなったのでしょうか・・・

ところで、冒頭の一節にある蘭ということば、今日という胡蝶蘭などのなかまではなくフジバカマのことではないかといわれています (諸説あります)。中国では佩蘭・蘭草と呼ばれ、古来より薫りを楽しむほか乾燥させて薬草・生薬として、あるいは沐浴に親し

まれてきたそうです。

中世に薬草 (ハーブのひとつ) で栄えた欧州の町があります。一角にある薬店には淡い色の薔薇の蒸留水などが並んでいました。修道院が敷地の中で育てていたハーブを、当時間も流行していた感染症対策に用いたり香りを楽しんでいたそうです。ハーブといえますと現代的な、ヘルシーでおしゃれな印象をもっていました。数百年のときを越えて、癒しのひとときを今に伝えているのだと思いました。

さて、吸蜜しているアサギマダラのなかに翅がボロボロの子がいました。長旅で傷んでしまったのか食べられそうになったのか (鳥が銜えていたという情報もあります)、それでもがんばって南をめざしています。1カ月に300キロ・400キロ移動しなければ間に合いません。なぜならば彼らの一生は半年もないからです。北上する個体と南下する個体は異なります、渡りの途中で卵を産みつけて次の世代にバトンタッチします。片道きつぱしか持っていないアサギマダラ、無事に目的地にたどり着いて!と応援したくなります。

彼らにとって終焉の地のひとつと思われる九州地方のある島では、自生するフジバカマのまわりを数十のアサギマダラが舞っている映像を見て、心を動かされました。もうすぐ散りゆくいのちなのに、さいごを愉しむかのような儂くも美しい光景です。

この令和の時代、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」—込められている日常がもうすぐやってくることを祈念しています。

〈参考文献〉

栗田昌裕. 謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか? (ベスト新書 589). ベストセラーズ, 2018, 251p., ISBN978-4-584-12589-2

〈参考資料〉

公益社団法人日本薬学会のホームページ～薬学豆知識～生薬の花, <https://www.pharm.or.jp/flowers/> (参照2022-11-04)

Officina Profumo-Farmaceutica di Santa Maria Novella～our story, <https://jp.smnovella.com/> (参照2022-11-04)

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2022年10月1日～10月31日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.873-876) の記事から抜粋

■米FDA

- Philips Respironicsの特定のBiPAP機器, プラスチックの問題によりリコールされる
<<https://www.fda.gov/medical-devices/safety-communications/certain-philips-respironics-bipap-machines-recalled-due-plastic-issue-fda-safety-communication>>
- LivaNova (TandemLife), コントローラーの重大な障害時に意図しない長時間のポンプ停止のリスクがあるため, LifeSPARC Systemをリコール
<<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/livanova-tandemlife-recalls-lifesparc-system-risk-unintentional-extended-pump-stop-during-controller>>
- Class I Recall: Jiangsu Well Biotech Co., Ltd., 米FDAの認可, 許可, 承認を得ていないCOVID-19 Ag Rapid Test Devicesをリコール
<<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/jiangsu-well-biotech-co-ltd-recalls-covid-19-ag-rapid-test-devices-are-not-authorized-cleared-or>>
- Philips Respironics, 磁石に関する安全性の問題により, 特定の医療機器に影響を及ぼす可能性があるため, BiPAP, CPAP機器用の一部のマスクをリコール
<<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/philips-respironics-recalls-certain-masks-bipap-cpap-machines-due-safety-issue-magnets-may-affect>>

■カナダHealth Canada

- 特定のPhilips Respironicsの睡眠療法用のマスクの磁石は, 一部のヒトに重篤な損傷を引き起こす可能性がある
<<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/magnets-certain-philips-respironics-sleep-therapy-masks-may-cause-serious-injury-some>>

■英 MHRA

- methylphenidate長時間作用型(放出調節型)製剤: 製剤の違いによる製品の切り替えには注意
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/methylphenidate-long-acting-modified-release-preparations-caution-if-switching-between-products-due-to-differences-in-formulations>>

■豪 TGA

- vitamin B6 (pyridoxine) 補充による末梢性ニューロパチー: Medicines Safety Update - 医療専門家向け情報
<<https://www.tga.gov.au/news/safety-updates/peripheral-neuropathy-supplementary-vitamin-b6-pyridoxine>>

■医薬品医療機器総合機構

- アダラートCR錠(徐放性製剤)の服用方法に係る注意
<<https://www.pmda.go.jp/files/000248347.pdf>>
- 不妊治療に用いられる医薬品による卵巣過剰刺激症候群について
<<https://www.pmda.go.jp/files/000248450.pdf>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局 渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://tech.libblabo.jp:53081/blabo/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版者	出版年月
British National Formulary No.84 September 2022 - March 2023	British Medical Association, Royal Pharmaceutical Society	Pharmaceutical Press	2022年9月
British National Formulary for children 2022-2023	British Medical Association, Royal Pharmaceutical Society	Pharmaceutical Press	2022年9月
European Pharmacopoeia 11.1	Council of Europe	Council of Europe	2022年10月

情報提供一覧

2022年11月1日～11月30日提供

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2022年10月分 (HP定期更新情報掲載)	11月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. 「JAPIC NEWS」 No.463 2022年12月号	11月30日	2. 学会演題情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」	毎 週	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	6. 日本の新薬	随 時
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	7. 学会開催情報	毎 日
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
6. 「JAPIC Weekly News」	毎 週	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
		1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>

平成10年1月～令和3年12月承認分までの審査報告書の全文を収録!

日本の新薬

— 新薬承認審査報告書集 —

全120巻

◆最新の9巻を刊行。全120巻に!!

新薬97品目を追加し、全巻では1,508品目を収録。

◆新薬開発、薬事・市販後対応、医学・薬学教育に!!

本書は、新薬の承認審査における厚生労働省の『審議結果報告書』および(独)医薬品医療機器総合機構等の『審査報告書』をすべて収録しております。

◆お得で便利なセットでの購入をお勧めします!!

各巻 **24,200円**(税込)

追加分9巻セット **108,900円**(税込)

※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております。



一般財団法人 日本医薬情報センター (JAPIC) 編集・発行
丸善出版 株式会社 発売

JAPIC <https://www.japic.or.jp/>

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせは事務局 渉外担当 (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

うきつりぼく

「浮釣木」。学名; *Abutilon megapotamicum* (A.Spreng.) A.St.-Hil. & Naudin. 英名: Chinese lantern. あおい科いちび属。常緑低木。ブラジル原産。庭木として植栽される。秋に赤と黄色の鮮やかな花を咲かせる。cichorioside B(抗腫瘍活性)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。